

佐藤ひろこ記者(右)が実演した取材の様子を熱心に見守る長田小の児童たち=29日、宜野湾市立長田小学校



野湾市立長田小学校(比嘉秀雄校長、児童数565人)で開かれ、6年生93人が新聞や記者の仕事について学んだ。記者の仕事を経験する



琉球新報記者による
出前講座「おでかけリョウポン！」が29日、宜野湾市立長田小学校

記者の仕事体験 宜野湾市立長田小 新報出前講座開く

ワークショップでは、二人一組になって週末の出来事を質問し、記事を書き上げた。

講座では、大阪出身の佐藤ひろこNIE推進室記者が「大学の時に沖縄戦の歴史を知り、命の大切さをもっと学ばうと沖縄へ来た」と記者を志したきっかけを紹介。「沖縄をさらに住みやすい場所にするために正しい情報を多くの読者に伝えたい」と思いを語った。

同室の金城綾乃記者はニュースを分かりやすく伝えるための仕組みを説明した。授業の様子を伝える速報を披露すると、児童たちは歓声を上げた。

石川鈴奈さんは「今日習ったことを職場体験の新聞作りに生かしたい」と話した。